

知多の家



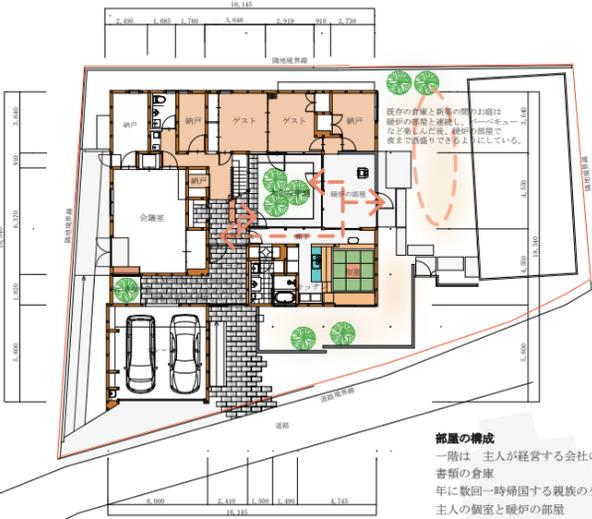
南側からの視線を遮るため、室内から南側道路に通行する車や人など外部環境に左右されないように木格子を配した。



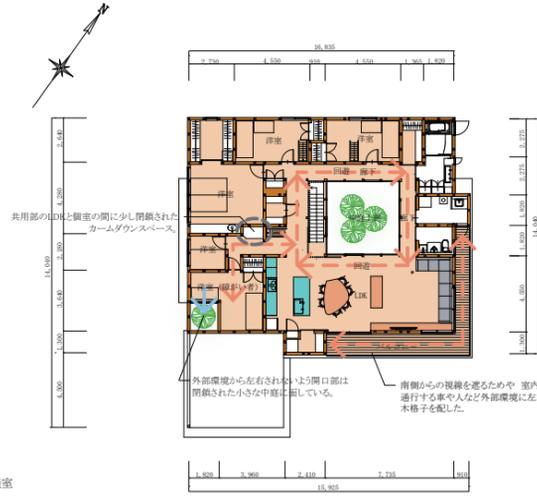
小さな中庭と大きな中庭からこぼれてくるわずかな光が、陰影を高めた空間としている。



小さな中庭と大きな中庭からこぼれてくるわずかな光が、陰影を高めた空間としている。



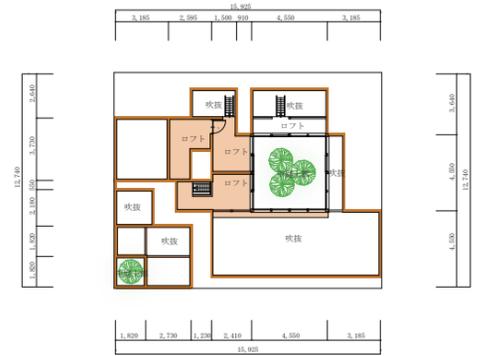
部屋の構成
 一階は 主人が経営する会社の会議室
 書類の倉庫
 年に数回一時帰国する親族のゲストルーム
 主人の個室と暖房の部屋
 二階は 家族がすまう部屋



共用部のLDKと個室の間に少し閉鎖されたカムダウンスペース。

外部環境から左右されないよう開口部は閉鎖された小さな中庭に面している。

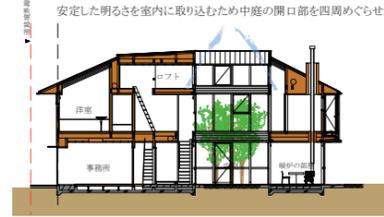
2階平面図



中庭の開口部

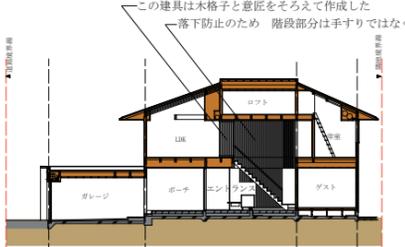
今回の計画地は準防火地域であるが、中庭部分は延焼の恐れのある部分からは除外されている。よって構造柱を基準として 木製建具 木製柱とフィックスガラス 一部にアルミサッシを組み込んだ。木製建具はどうしてもメンテナンスが必要であり、特に最初の一年の調整は不可欠である。メンテナンスのしやすい一階部分は、木製建具と木製網戸とフィックスガラスの構成。二階と二階上部やロフトに関しては メンテナンスがほほないアルミサッシとフィックスガラスの構成にしている。

ロフト



安定した明るさを室内に取り込むため中庭の開口部を四隅めぐらせている。

断面図



この建具は木格子と意匠をそろえて作成した。落下防止のため 階段部分は手すりではなく木格子としている。

断面図

構造規模	木造 2階建て
敷地面積	574.00㎡ 173.64坪
建築面積	239.52㎡ 72.45坪
延べ面積	413.94㎡ 125.52坪

六階建てのマンション

案内図

敷地の環境

一部に新しいマンションや住宅があるが畑 店舗 住宅 事務所 倉庫など混在する、古い町並みである。道路は狭いが、住宅街となっており、通学路であり、車の往来も多い。クライアントは会社を営んでおり、その会社は今回計画する敷地の南側である。南側に六階建てのマンションが建ち、今回新築する事務所兼住宅を見下ろしている。一つ隣の市に製鉄所があり、黒い降下ばいじんが、降り注ぐ。

家族構成

夫婦二人 子供三人 子供一人が障がい者である。障がい者である子供の配慮も求められた。

設計主旨

南側のマンションから、内部を見られたくないこと。主人が経営する会社の社員から生活感を見られたくないこと。道路の車や人通りなど外部環境に左右されやすい障がい者である子供の精神の安定を図ることを考え、外部は木格子で閉じ、中庭を作り内に開くことにした。降下ばいじんがあり、屋根や外壁の汚染が懸念される。屋根材は濃色とし、外壁の汚れを考慮し軒は深く、その軒は水平で四方回り、長方形の形態であるため隅木は振れ隅としている。一階のエントランスや玄関は、中庭からの直接光や反射光をあまり期待できない。あえて、玄関壁床タイルを濃色として陰影を強くし、薄暗く木漏れ日の下にいるように表現した。反転して二階部分は大きな中庭の四方から光を感じさせる空間となっており、廊下 階段 LDKに面して回遊導線とし、中庭に開かれた明るい開かれた空間としている。

障がい者の特性は多様性があります。普段生活している場所で気分が高揚すると、手すりなどよじ登る可能性があり、階段部分の木格子は二階の天井まで延長しました。自身の生活訓練のため洗濯場とバルコニーの物干 LDKの導線と連続しわかりやすい導線としている。バルコニーでは、シャボン玉をしたり、休憩したりする場所とし、バルコニーの手すりを越える恐れがあることや、外部環境にあまり左右されないように木格子で包んでいる。障がい者である子供の洋室の開口部は閉鎖された小さな中庭に面しており、外部環境に左右されない空間としている。その室と共用部のLDKの間に少し閉鎖されたカムダウンスペースをつくっている。今はその症状はないが、はがれたクロスを捲り取る症状がでる恐れがあるため 仕上材はEPや漆喰材としている。いわゆる段差なしや車いす対応や手すりというバリアフリーではなく、障がい者個々の特性に対応した設計としました。



大きな中庭は、暖房のある部屋、玄関ホールに上開で続いており土足で歩き来できるようにしている。



階段の木格子は二階の天井から一階の床面まで連続している。二階においては落下防止となっており、一階においては床面の陰影を高めている。



外部環境から左右されないよう開口部は閉鎖された小さな中庭に面している。



共用部のLDKと個室の間に少し閉鎖されたカムダウンスペース。



二階部分は光を感じさせる空間となっており、大きな中庭は廊下 階段 LDKに面しており 回遊導線としている。